

【新技術の紹介】

■農地土壌の放射性物質除去技術 ～イベントに出展～

＜説明者＞農地基盤工学研究領域 水田高度利用担当 原口、北川、若杉、瑞慶村

平成 24 年 1 月 13 日に、つくば国際会議場において、TX テクノロジー・ショーケース in つくば 2012 が開催されました。

東京電力福島第一原子力発電所事故が被災地農業に大きな被害をもたらし、農地土壌等の除染技術、農作物等における放射性物質の移行制御技術の開発が喫緊の課題になっています。そのため、今回のイベントでは、通常のポスターセッションに加え、大震災や原発事故を取り上げる特別ゾーンやミニシンポジウムが特別に企画されました。

農工研からは、民間業者と共同開発した“放射性物質に汚染された農地土壌の効率的な除去工法”を出展しました。この新技術は、被災地の農地において効果が実証され、マスコミで何度も紹介されました。イベント当日は、展示コーナーに来られた多くの皆様から熱心な質問を沢山いただき、放射性物質の除染対策への関心の高さが窺えました。



▲熱心な質問に答える若杉晃介主任研究員

本イベントは、つくばサイエンス・アカデミーが筑波研究学園都市の研究機関とともに、最新の研究成果、アイデア、技術を持ち寄り、研究者や技術者が相互に披露し交流することを目的に始めた催しで、今回で（2002 年から）11 回目を迎えました。

今回は他にも、小惑星探査機はやぶさの成果紹介、宇宙飛行士・野口 聡一 氏の講演など、一般市民向けの催しもあり、会場は多くの来場者で賑わっていました。